

◇「“ひびき”創刊時を想う」 今橋 衛

初代教育研修部長（昭和59年1月～平成9年3月在任）

会員の皆さん。懐かしい『ひびき』の紙上でお目にかかれて、久しぶりに心が高揚します。

私は昭和59年、今より20数年前、凶らずも教育担当として拝命を受け「東ト協100年の大計は人材育成にあり」とする元東ト協会長鈴木元徳氏の理念を実現すべく取り組みました。その思い出は尽きませんが印象深い機関紙創刊について述べて見ます。

機関紙は組織体の顔であり、会員同士の中樞神経であります。その動きで活動領域を濃密化しかつ拡大します。青年部発足以来、機関紙発行の提言は度々出されましたが、編集担当や原稿収集等で煮詰まらず、「東ト協トラック時報」のスペースに間借りして10年の歳月が流れました。平成5年、橋場之廣壮年部本部長の裁断により、漸く「ひびき」が誕生しました。その喜びは大変なもので、本部長は「この機関紙が自社の経営資産の一つと位置づけられるように立派なものに育てよう」と語っています。そして早15年、“トラックのひびき”“エンジンのひびき”“会員の声のひびき”“ロジスティクス活動のひびき”は休むことなく受け継がれていることに敬意を表するとともに、創刊時の辛苦と感激を忘れず今後ますます会の理念を鮮明に、報道の迅速正確と会員の心に通う機関紙として発展することを祈って止みません。

◇「会社の利益は事故ゼロから生まれる」

(有)エイチ・アイ・プランニング 代表 岩崎 仁志

物流業を営む上で、最も意識すべき事はまず「安全」です。しかし現実に目をやると営業用トラックを第一当事者とする事故はどうしても減少してくれません。こういう残念な状況を受け、国土交通省は自動車運送業に関わる「運輸安全マネジメント実施要綱」を10月16日付で改訂しました。2006年10月に300台のトラックを保有する事業者に対して施行された運輸安全マネジメントですが、評価対象を事業規模に限らず重大事故を起こした事業者に拡大したほか、知識経験を持つ職員を有する第三者機関（自動車事故対策センター＝NAVSAなど）にも運輸安全マネジメントの指導が行えるようにしました。加えてトラック事業における元請・下請関係を考え、実質的に元請業者の指導を仰ぐ立場であることから、下請業者も評価対象に加えしました。特に運輸安全マネジメントの今改定で、第一当事者として“死亡事故を引き起こした事業者”、“危険物の大量漏えい事故を起こした事業者”も対象となることになりました。重大事故を未然に防ぐには、日頃から危険回避や不安全行為の排除など安全意識の徹底を行うことが何よりも重要なのです。

◇お願い《ひびき原稿》

ひびきご愛読の皆様ありがとうございます。編集者一同、今後とも質の高い記事をよりタイムリーに出稿できるように、アンテナを張り巡らせて頑張っております。

次の記事を期待していただきたいのと同時に、読者皆様一人ひとりの声もひびきに反映させていきたいと願っております。

「支部活動状況」、「ご提案」、「余暇情報」、「感想」、「エッセイ」等、いかなるジャンルのものでも構いませんので、ひびきに対する寄稿を広く呼びかける次第です。

みなさま一人ひとりに紙面づくりに関与していただいて、よりよい情報誌の作成を心がけたいと念じているところです。

ご協力よろしく願いいたします。

広報委員長 鈴木 貢

◇お知らせ《行事予定》

○12/ 2(水)17:30～ 第2回オ・ブ・セミナー 於：東ト総合会館4階
当日直接参加可（是非ご参加ください。）

○12/ 7(月)18:00～ 第3回青年部研修会(オ・ブ・セミナー)
於：東ト総合会館6階研修室

○12/ 9(水)18:00～ 幹事会 於：キャロハウス（新宿）

◇赤鬼、青鬼

高市 好人〔千代田支部 新聞輸送(株)〕

酒の席での昔話、誇張やはったりは付き物ですが。

昭和の50年代まで、東京都心には赤鬼、青鬼が我が物顔で走り回っていたんです、と古参のドライバーが申します。雲助やカミカゼもいたぜ、と横から合いの手。

なんのことは無い、自慢話。当社のトラックが青色で青鬼。交通法規をちょっとご勘弁願ってすっ飛ばしていた、という次第です。夕刊を上野や両国で列車に積み込むため、発車時間に間に合うよう信号を軽視して突っ走る。大昔にはパトカーに先導させた強者もいた、ともまことしやかに伝えられています。

今は、そんなことは全くありません。自慢の動態管理システムを搭載して省エネ運転・安全運転に努めています。そもそも、新聞は印刷工場の全国展開で、すっ飛ばさなければいけないほどの地方発送も無くなってしまいました。

ところで赤鬼ですが、郵便を運ぶ赤いアレのことです。向こうはお国をバックの大会社。こちらは弱小中小企業ですが、心意気だけは負けないよ、というつもりで与太話でした。

でも最近、赤鬼さんもお国のほうからは、「出て行け」、「やはり戻れ」、いったいどうなるの、と困っていらっしゃる様子。陰ながら心配しています。そういう当方は急激な右肩下がりで、人の心配をいられる余裕などないんですが。

ここはお互いなんとか踏ん張って、鬼ではなく模範的ドライバーとして、元気に走り回れるようになりたいなー、と思っている今日このごろです。

◇葉っぱの杜美術かん

赤尾 昭次〔千代田支部 (株)マルカン〕

日々の生活に潤いと癒しを与え、大人も子供も楽しめる「葉っぱの杜美術かん」が10月11日（日）、平成の名水妙音沢の近くの新座市に開館しました。

新座市内に見られる、葉っぱ・花のラミネートアートで、環境にも優しい新生活空間を提案したものです。また、2階は地域のアーティストが自由に参加できる展示フロアになっています。

休館日：毎週 火・水・木曜日

携帯：赤尾 090-3107-8398

FAX：048-479-7459

E-mail：t-isiyam@icom.home.ne.jp

所在地：〒352-0014 新座市栄1-8-24

西武池袋線 大泉学園駅南口か、ひばりヶ丘駅北口よりバス

東武東上線 朝露駅南口よりバス

◇三支部三組織合同研修会（千代田・中央・港支部）

菅野 晃〔千代田支部 (株)メトロカーゴ〕

今年も残り少なくなりましたが、会員の皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

先月11月10日（火）に如水会館（千代田区一ツ橋）にて三支部三組織合同研修会が行われました。講師に、TVメディアで著名な辛坊治郎氏をお迎えし、「政治・経済—ウラを読む」という演題でお話いただきました。日頃テレビ等で流れる情報の表面だけを見るのではなく、本当のところはどうなのかと考えて、真実を知ろうとする事は、様々な判断にかかわる事であり、また、面白い事でもあります。話題の報道を取り上げてのリズム感のあるお話でした。

司会の大役を仰せつかった私も、皆さまとの情報や課題等の共有が一層大切になると思いました。

○ 2/ 3(水)16:00～ 三組織合同セミナー 於：京王プラザ H(新宿)
17:55～ 三組織合同新年会 於： 同上

○ 3/ 4(木) 安全フォーラムIV 於：東ト総合会館7階

○ 3/10(水) 青年経営者研修会 於： 同上